

こんにちは



豊前市議会です



第96回全国市議会議長会定期総会の表彰

5月臨時会(5/1)・6月定例会(6/3～6/22)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2～3P
令和2年5月臨時会・6月定例会議案審議結果	4P
一般質問	5～10P
新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告	11P
トピックス・編集後記	12P

議会へのご意見をお寄せください

議案の概要

第3回臨時会

令和2年第3回臨時会は、5月1日の1日間の会期で開催されました。

臨時会には、市長より議案4件が提出されました。それぞれ所管の常任委員会で審査され、議案については原案どおり、可決・承認されました。

第4回定例会

令和2年第4回定例会は、6月3日から6月22日までの20日間の会期で開催されました。市長より議案7件、その他3件が提出されました。

最終日には、議案第42号が追加提案されました。それぞれ所管の常任委員会で審査され、議案については原案どおり、可決・承認されました。

また、議会運営委員会より意見書案2件、市長より同意案件1件が提案され、いずれも原案どおり可決・同意されました。



同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。(敬称略)

■固定資産評価員(税務課長)

豊前市大字三毛門
尾家 真由美

第3回臨時会は、新型コロナウイルス感染症対策等の補正予算の提案を受け可決しました。
第1弾 豊前市新型コロナウイルス感染拡大防止休業等協力店舗支援金事業について、第2弾 豊前市新型感染症対策事業者応援金事業(頑張ろう!ぶぜん!!応援金)について豊前市独自の支援事業の報告及び提案を受け、承認・可決しました。
第4回定例会は、新たに第3弾 新型コロナウイルス感染症に対する豊前市独自支援策の提案を受け可決しました。
詳細については、新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告(10P・11P)に記載しています。

議案第40号

令和2年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、産地パワーアップ事業、森林環境譲与税活用事業の提案を受け、可決しました。

議案第42号

令和2年度豊前市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対応に係る経費について、高齢者、妊産婦応援事業、医療機関、福祉施設応援事業、ひとり親世帯臨時特別給付金事業、豊前市生活応援事業、学校給食費助成金(小学校・中学校)、情報機器購入費(小学校・中学校)の提案を受け、可決しました。

文教厚生委員会の申し入れ事項

◎ 豊前市第3子以降保育料無料化事業について

保育園の入所申し込み時には、第3子以降保育料無料の説明をしっかりとすること。また、無料化の申請もれがあった時は、遡って保育料を返還すること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

総務委員会

◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・爪丸裕和・磯永優二

文教厚生委員会

◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治

産業建設委員会

◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・郡司掛八千代・平田精一・岡本清靖

予算決算委員会

◎福井昌文○村上勝二・梅丸晃・為藤直美・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・尾澤満治・磯永優二

議会運営委員会

◎尾澤満治○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

◎……委員長 ○……副委員長

意見書第1号

新型コロナウイルス対策に伴う地方自治体による住民個人や事業所に対する支援金・給付金への課税免除を求める意見書

「新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律(新型コロナウイルス税法)」を拡充し、非課税枠を抜本的に拡大すること、地方自治体によるこれらの支援金・給付金等を国が支給する「特別定額給付金」や「子育て世帯への臨時特別給付金」と同様に、非課税の措置を講じることを国へ強く要請しました。

意見書第2号

台湾の世界保健機関及び国際民間航空機関へのオブザーバー参加を支持すること等を求める意見書

新型コロナウイルスの感染による「COVID-19」の発症は日々拡大しています。世界保健機関(以下「WHO」)は、公衆衛生上の緊急事態を宣言しました。

しかし、2300万人の人口を抱える台湾は、WHO等に参加できておらず、まさに地理的空白となっています。

よって、国におかれては、国際社会の平和的な発展と安定の実現のため、台湾がWHO及び国際民間航空機関(ICAO)へオブザーバー参加することを支持し、参加に向けて協力するよう国へ強く要望しました。

議案第41号

工事請負契約の締結について

- ◎ 工事名称: 豊前市役所庁舎・議会棟耐震補強工事
- ◎ 契約金額: 506,000千円

平成26年度に豊前市役所庁舎の耐震診断を実施した結果、震度6強から震度7の地震の振動及び衝撃に対して「倒壊し、又は崩壊する危険性が高い」との結果がでました。

これにより、平成30年度に現状の庁舎で耐震改修をすることが決定され、今議会において、「工事請負契約の締結について」の提案を受け、可決しました。

議員からは、業務をしながらの耐震工事となるので、市民に迷惑をかけないように配慮してほしいとの意見が出されました。

令和2年5月臨時会 議案審議結果

「○」…………… 賛成 「●」…………… 反対 「議長」…………… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸 晃	村上 勝二	為藤 直美	秋成 英人	郡司掛八千代	黒江 哲文	平田 精一	福井 昌文	鎌田 晃二	岡本 清靖	尾澤 満治	爪丸 裕和	磯永 優二	賛成	反対
議案第31号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第32号	専決処分について(令和2年度豊前市一般会計補正予算第1号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第33号	令和2年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第34号	令和2年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0

令和2年6月定例会 議案審議結果

「○」…………… 賛成 「●」…………… 反対 「議長」…………… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸 晃	村上 勝二	為藤 直美	秋成 英人	郡司掛八千代	黒江 哲文	平田 精一	福井 昌文	鎌田 晃二	岡本 清靖	尾澤 満治	爪丸 裕和	磯永 優二	賛成	反対
議案第35号	豊前市税条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第36号	豊前市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第37号	豊前市手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第38号	専決処分について(豊前市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第39号	専決処分について(令和2年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算第1号)	承認	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第40号	令和2年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第41号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠席	11	0
議案第42号	令和2年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
意見書案第1号	新型コロナウイルス対策に伴う地方自治体による住民個人や事業所に対する支援金・給付金への課税免除を求める意見書(案)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
意見書案第2号	台湾の世界保健機関及び国際民間航空機関へのオブザーバー参加を支持すること等を求める意見書(案)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第3号	豊前市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0



議長
爪丸 裕和



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『平成会』の一般質問



鎌田 晃二



磯永 優二



平田 精一



福井 昌文



秋成 英人



黒江 哲文

- 【質問項目】
- (秋成英人議員)
- ① 病児保育の現状
 - ② コロナ環境下における防災対策
 - ③ ICT
- (福井昌文議員)
- ④ コロナ感染予防
 - ⑤ 教育問題
 - ⑥ 災害対策
- (鎌田晃二議員)
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症の対応
- (平田精一議員)
- ⑧ ごみの収集
 - ⑨ 豊前市内の駅の管理
- ⑩ コロナ禍がもたらした財政問題
 - ⑪ コロナ禍がもたらした教育問題
 - ⑫ コロナ禍がもたらした防災問題
 - ⑬ コロナ禍の今後のイベントのあり方
 - ⑭ コロナ禍の地域医療体制の確保等
- (黒江哲文議員)
- ⑮ 豊前市の現状と今後の対策

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

豊前市の顔となる 情報発信は正確に迅速に

秋成議員 昨年の、6月、9月、12月議会で病児保育の重要性・必要性について質問した。当初は、予算の確保、設置場所・人員確保が難しいという理由で、豊前市単独での実施は不可能に近いという回答だった。その後、近隣自治体との広域連携を提案し、吉富町から前向きな回答が得られ、共同事業として今年度から病児保育がスタートした。限られた予算の中から病児保育に取り組んでいただき感謝している。4月からスタートした病児保育であるが、新型コロナウイルスの影響により、利用者数がほとんどないと考えられるが、現在までの利用状況をお尋ねする。

市民福祉部長 病児保育は、議員の提言により実施となった事業である。今言われた通り、4月から

の事業登録者は8名であるが、利用された方はいない。

秋成議員 子育て世代の方に、病児保育がスタートすることを伝えると非常に喜んでいました。

しかし、豊前市のホームページを見ただけで載ってなく、この前利用したかったのに内容がよく分からなく諦めたという声を聞いた。その後、担当課に広報はどうしているのと尋ねると、市報の4月号に掲載しているほか、豊前市のウェブサイトに掲載しているという回答だった。

確認したが、市報のバックナンバーがPDFファイルで掲載されているが、ウェブサイトの検索機能ではファイルの中で検索できない。また、病児保育という項目については掲載されていない。

し、検索にも引っかからない。単純に更新が間に合っていないかもしれないが、4月に年度が替わって2カ月が経過している。ウェブサイトの責任担当者に見解をお尋ねする。

総務部長 この度のホームページ画面のリニューアルにつき、所属長連絡調整会議の中でも2回、ホームページの古いリンクの切れたもの、内容が古いものについては削除、また新しいものを挙げるよう指導してきた。方が一漏れがあつたとすれば誠に遺憾であり、残念である。再度、総合政策課より厳しく指示するよう指導したい。

秋成議員 市報に掲載しても、情報はまずネットからという時代になりつつある。せっかくいい事業であっても、情報の受け取り手に届かなければ宝の持ち腐れになりかねない。豊前市の顔ともいえるウェブサイトは、最新情報が得られるように常に管理をお願いしたい。

新型コロナウイルスに 負けない心優しい豊前市に

福井議員 新型コロナウイルス対策として、国や県、我が豊前市も色々な支援策を打ち出している。一方、マスコミ報道

等で御存じとは思いますが、新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷やいじめ等が激しさを増しているようである。本市でもそのような事案がないのか、行政としての対策について伺いたい。

総務部長 マスコミ報道、市内の状況を含めて耳にしている。これは、人権侵害・職業差別等につながるので絶対にしてはいけないこと。ホームページ・防災無線の放送時には、そういう言葉、文言もキーワードとして発信している。

福井議員 感染者はなりたくてなったわけではない。一生懸命、真面目に仕事をし、感染をしてい

る。今こそ、是非豊前市独自の施策、取組みを行っていただきたい。如何か。

総務部長 心のケアの相談窓口への案内、また県とも相談しながら、事例があれば、当然是正していききたい。

福井議員 このような施策は、他の自治体ではあまり取り組んでいないようである。豊前市として、是非自信を持って実施してもらいたい。また、その家庭に小・中学校に在籍している子供がいる場合、いじめ等も心配されるが、如何か。

教育部長 学校では、学級担任、養護教員等が配置され、心のケアを学習の中で、実施している。

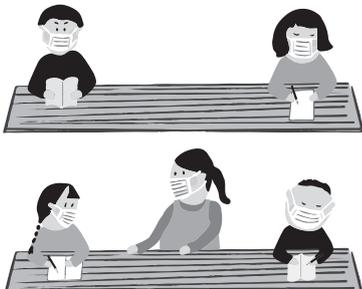
また、スクールカウンセラー等を配置しており、その様な相談の悩み

がある子供にも、直接専門の先生がカウンセリングできるような体制をとっている。

福井議員 校長会なり学校等に強く指示をしていただきたい。教育部長、一言。

教育部長 4月の段階で、道徳など具体的に教材等を選定し、各学校で学ぶよう指示している。また、心の専門家のスクールカウンセラー等配置しているのので、しっかりと心のケアをしていききたいと思っている。

福井議員 豊前市の人口は減少をたどっている。少なくとも、感染者の方が出ていかないと、豊前市が守って、住んでいただく環境をつくる取組みを、今後お願いする。



力を合わせ この難局を乗り切ろう

鎌田議員 障がい者に関わるコロナウイルス感染症に対応した医療体制について伺います。

手話の方がマスクをすれば、なかなか表情、口話を読めない。聴覚障がいの方が受診される、熱が出た、このような場合の相談等はどのような体制がお尋ねする。

市民福祉部長 聴覚に障害がある方の相談は、電話ではできないのでFAXということになる。県の感染症対策係に、現在の状況、状態等をチェックして出すFAX用紙等もあるので、相談をまずはしていただきたいと思う。ただ、このことの周知ができていない状況なので、障がい者支援団体の方へ、代表者会議の折に、周知していききたいと考えている。

鎌田議員 国が、医療体制の強化ということで2

次補正を付けている。その中で県事業になるが、遠隔手話サービスがある。

また、大津市にLINEを活用した手話相談がある。これは聴覚障がい者の方が市役所への問い合わせを円滑にできるようにビデオ機能を使って職員と手話でやり取りができる。事前登録が必要で、LINEのアカウントを利用して行政手続きや病院の予約・変更、仲介依頼がLINEの文字入力でもできるし、ビデオ通話でもできる、どちらでもできるということで、手話を取得してない方、中途失聴者も使い易いというところである。この様な施策も豊前市独自で考えてみては、是非、議会議案終了後、手話言語条例の打ち合わせがあると思うので、そこで意見を伺ってみたい。

最後に皆さん自粛でイライラしているところもあると思う。

職員の方は、一生懸命働いていることは理解できている。これからも、力を合わせてこの難局を一緒に乗り切っていきたい。

たら如何か。

市民福祉部長 手話言語条例の会議もコロナウイルスの関係で開かれないう状況である。私も4月に異動してきたばかりで、会議に参加できていない。今後、参加し情報交換等を行っていききたいと思う。

鎌田議員 遠隔手話サービスでもう一段階進んだものがある。明石市が導入している手話フォンである。それは手話対応型の公衆電話ボックスで、登録なしで出来る。直接そこで電話を掛け、手話の方とも直接話ができ、横に当事者と関係者がいて話ができるというサービスもスタートしている。

将来余裕があれば、豊前市にも導入していただきたい。

最後に皆さん自粛でイライラしているところもあると思う。

職員の方は、一生懸命働いていることは理解できている。これからも、力を合わせてこの難局を一緒に乗り切っていきたい。

コロナ禍がもたらした問題

平田議員 防災対策についてお伺いする。内閣府が避難のあった対象地域を調査したところ、マスク・消毒液などが不足するだろということ、避難する際にはこれらを持参するようにと新聞に書かれていたが、豊前市においてマスク・消毒液等は十分管理されているか。

総務課長 マスク・消毒液ともに備蓄を進めているので一定程度の期間であれば十分対応できると考えています。

平田議員 豊前市は災害の少ない地域とよく言われるが、想定外のことが起きたときにどういう対応ができるかというところまで十分準備していただきたい。

次に、イベント等について、3月以降ほとんど中止になっているが、市民にとっては非常に残念だと

思うし、商売している方にとっても大きな打撃かと思う。命を守るためには仕方のないこととは思いますが、4月以降何月までのイベントが中止されているのか。

産業建設部長 7月下旬か8月初旬に行っている花火大会までは中止と決断したところである。それ以降のイベントについては、今後全国的なコロナの状況にもよってくると思うが、3密を避けて行っていけたらと考えている。

平田議員 イベント中の財源について、企業等による協賛金が入っているということだが、こういう経済状況の中で商店街や企業が今後1、2年、出してくれるかという心配もあるがその点はいかがか。

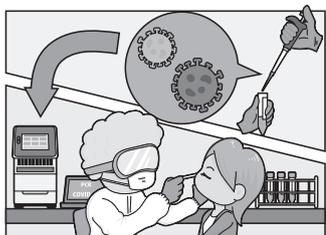
産業建設部長 事業者の収入の落ち込みが顕著にあらわれており、その辺はな

かなか頼ることができなくなるかと想定している。今後、イベントのやり方、お金の使い方をもう一度見直していくことも必要になってくると考えている。

平田議員 最後に、医療体制についてお尋ねする。コロナに関して、PCR検査等は各医院でできるのか。

市民福祉部長 豊前築上医師会に、豊築地域検査センターというのが設置され、保健所と、そういった民間の医療機関からの二つの窓口ができたということで検査体制が充実されている。

平田議員 やはり今後は検査。いわゆる予防薬、治療薬がまだ本当にできあがっていない状態なので、市民の命を守るためにもしっかり検査をやっていたきたい。



豊前市の現状と対策

対応で評価は高かったという声は聞いている。しかし、個人向けのものをまだやっていないが、私は市民に対して何らかの策を打ち出すべきと思う。豊前市は市民に対して支援策をどのように考えているか。

市民福祉部長 緊急事態宣言以降、福祉関連施設が継続して利用者の生活支援をしており、慰労の意を表するとともに何かしらの支援をしたいと考えているところである。また、高齢者、妊婦の方にも何かの支援ができればと、予算化について協議をしている。

黒江議員 もしこの機会に間に合うのであれば、市民に1000円でも2000円でもいいと思う。そして、子どもの世帯、医療従事者、高齢者というところが合致すると、一つの世帯で多少の額にはなるのではないかと思う。これについて市長の考えをお尋ねする。

市長 やはり個人向けというか、頑張っている人たち、弱い立場の方々はどう支援できるのか、この辺に焦点を当てて取り組んでいくべき

だろう。エール券という形で直接・間接に少しでもお役に立てばという思いでこれをなんとか実現していきたいと思っている。

黒江議員 ぜひともエール券の配布をお願いする。そして、今後最も必要と思う事業は、就労支援事業、もう一つは買い物難民対策と地元経済の活性化に向けた連携事業だと思う。就労支援事業については、市内事業所のアルバイト、パート、正社員の募集の一覧表を作成し、職を失っている方に情報を提供していく。もう一つは、市内事業者の商品メニューを作成し、市民が注文するとその商品を類似公民館で受け渡す、豊前市移動スーパープロジェクトである。このような後に生かせる事業を取り組んでいくべきではないかと思う。豊前市民の救済はこれからが本番だと思ふ。先の見えない闘いであるが

今後市民のために全力で努めていきたい。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 新型コロナウイルス感染症防止と支援
- ② 教育現場の現状と豊前市が考えるこれからの教育
- ③ 急変した生活スタイルに必要なとなるIT化の推進

【質問項目】

(村上勝一議員)

- ① 新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らし、営業と医療、福祉、教育を守る
- ② ギャンブル(競艇場外発売場)開設計画
- ③ 若者の定住促進で地域活性化
- ④ バイオマス発電など自然エネルギーへの転換と課題

【質問項目】

(岡本清靖議員)

- ① 豊前市の今後の農業
- ② 区の統合と地域づくり協議会

- ① 豊前市の移住・定住促進の窓口・担当課の設置
- ② 災害時従業員シエアのプラットホームの設立
- ③ 豊前市公式LINE

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「ですます調」ではなく、「だである調」に統一しております。

※ 詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

オンライン化の推進について



為藤 直美

広報ぶげんの5月号でご案内した防災無線と同じ内容を発信できる、QRコードの登録制によるメールサービスを広げていきたいと考えている。

為藤議員 前回は質問の中で、SDGsを用いた持続可能な豊前市をつくるためにということ、全ての国と人を対象とする2030年までの目標がある。豊前市がSDGsに取り組んでいる事業等があれば、伺いたい。

総務部長 市もしくは市内の事業所の取り組みで、食品ロス、ごみの分別、クリーン作戦での古紙の収集等がある。市の事業では、ジビエ販売促進計画を行っている。SDGs 17項目の考え方を踏まえて取り組みを構築している。
為藤議員 地域においても、今をどう乗り切るか、今こそワンチームになって力を合わせ、地域の成長を願い、コロナウイルス感染拡大により、大きく様変

わりした生活スタイルも、持続可能な豊前市になるための取り組みを明確にし、力を合わせリスベクトしていきけるようにお願いしたい。海・山に囲まれた自然豊かな災害の少ない地域の魅力、オンライン化が進むことで便利な地域、豊前市に住みたいと思うメリットを打ち出し、魅力を感じるような政策をお願いする。今後の在り方について、最後に市長の考えを伺いたい。

市長 自治体のハンディが、リモートもしくはテレワークなどで解消できる。また、この素晴らしい環境を生かした子育てができるなど、メリットも見えてきた。この時代に地方が出番だと名乗り出られるような豊前市をつくっていかねければと思っている。
為藤議員 スピード感のある対応を、まずは皆さんの健康に留意して今後もお願います。



定住促進の専門部署を



梅丸 晃

梅丸議員 豊前市役所には、現在、定住を希望される方への、移住・定住の担当部署はあるのか伺いたい。

総務部長 今年度から空き家バンク等を生活環境課に移管した。税とのワンフロア化を行い、相談しやすいようにした。

梅丸議員 住まいと仕事の関係で、仕事を探している、1ターンの・Uターンの方への担当部署があるのか伺いたい。

総務部長 転職や仕事関係は、商工観光課が窓口になっている。秋に企業説明会を開催し、求人や企業の紹介を行っている。

梅丸議員 移住・定住を希望している世帯が、子育て世代の方だと仮定し、その場合の子育て支援や教

育環境の担当部署を伺いたい。

総務部長 福祉課や教育課になると思うが、総合政策課で、ぶぜん暮らしや定住促進パンフレットを作成している。この中には、助成

制度、また第3子の保育料無料化、子ども医療の助成、そして定住補助金等、ライフステージごとの施策を掲載している。

梅丸議員 空き家バンクの入居希望の方への補助金や金銭的な免除等、支援は何かあるのか。

市民福祉部長 空き家バンクを利用したときの契約における支援の助成交付事業がある。市内の登録不動産業者に支払った仲介手数料の額とし、一契約につき5万円を上限に助成をしている。

梅丸議員 コロナ禍において都心部のリモートワーク・テレワークが急速に進んでいる。育児や介護と仕事を両立できるテレワークを通じ、自治体や

地域産業と連携し、移住までサポートする企業もある。豊前市も企業との連携を結んだらどうか。

産業建設部長 豊前市内の企業だけと考えていたが、都会の企業が住まいは自分の好きな場所です仕事をするパターンも出てくると思うので、調査し、研究したいと思う。

梅丸議員 豊前市への移住・定住の増加を図っていくためにも、専門の担当課が私は必要であると思う。最後に市長の考えを伺いたい。

市長 新たな日常、新たな暮らし方、そういう時代に豊前市へどう誘うのか、私は地方にチャンスがきていると思っている。ご意見をしっかりと受け止めて何か考えなければと思っている。

梅丸議員 地方へアンテナを張っている方々へのPRと、移住・定住の受け入れ体制の強化を図るためにも、ワンストップで対応できる担当課を開設していただき、人口増加への前向きな取り組みをお願いする。

ギャンブルに依存しないまちづくりを目指して



村上 勝二

村上議員 競艇場外発売場の建設計画で、開発事業者が開催した地元説明会では、地域から用水路

の改修や橋の改修、農地対策への要望や回答が交わされたようだ。地域の要望を解決することで、

場外発売場の建設を条件に、地元の合意を取り付けようとする動きだと思われるが、市政の運営として間違いを犯すものである。そこで、建設予定

地で何か動きや変化があったのか、伺いたい。
産業建設部長 農地のままで変動はない。

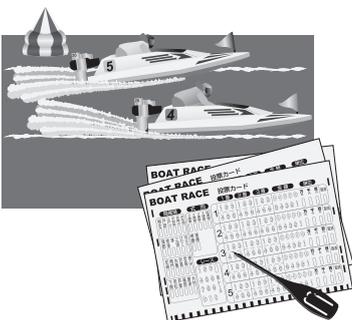
村上議員 市は介入していない、事業者からの説明もなく、初めて聞いた話であるとのことだが、

教育環境の悪化、ごみなどの住環境問題、交通渋滞も予測され京築地域住民に迷惑が及ぶことで、市のイメージダウンは避けられない。国交省からは設置の要件に、地元・市長・議会すべての同意が必要との回答だった。

市民が知らない、水面下で進行する建設計画に反対する「市民の会」は、署名活動を行い市長に同意しないよう申し入れを行った。これは市民の合意形成がなされていないことである。市長は建設計画推進の立場だと聞いたが、事実なのか。市長の見解をお聞きしたい。

市長 今までの経緯を改めてお聞きしたが、市には正式な申し入れはないと受け止めている。今回の話も含め、しっかりと判断すべきなのか慎重に考えていきたい。

村上議員 市長は以前、厳しい財政状況下で歳入を増やすために、民間投資の促進に力を入れることは公約であると力説していたが、ギャンブル場設置は経済効果以上のマイナスが大きいと言える。ギャンブルに依存しない健全な豊前市の発展は、若者の定住、子育ての応援、暮らしの充実にこそあると考える。市長がもし建設計画を推進するのであれば、次回の市長選挙で公約して当選したらすばらしい。その前に進めるのであれば、住民投票にかけるべきではないかとも考える。市民が反対と言っているこの建設計画は今すぐ止めていただき、同意しないようお願いする。



5年後10年後の農業について



岡本 清靖

岡本議員 これからの農業は、私たちが守っていかねばならないと強く感じている。遊休農地や耕作放棄地、後継者不足の問題もあるが、今現在の状況をお聞きしたい。

産業建設部長 豊前市の農業者の大半は、兼業農家である。中山間部は、ほ場整備が進み集落営農組織、機械利用組合、認定農業者が中心となつて農業生産を行っている。

岡本議員 三毛門地区でほ場整備をすると聞いたが、担い手不足により農地の管理も難しくなっているようだ。農業を継続してもらつたために、行政と地域が意見交換をしながら進めてもらいたいと思うが、いかがか。

産業建設部長 ほ場整備

は田んぼ、畑の所有者に負担が掛かるのがネックである。農地の管理についても、地域の方々と考えていきたい。

岡本議員 ほ場整備により、傾斜の高い法面が多くなり、畦畔が長くなることで草刈が大変な作業となっている。そこで、野芝など丈の低い草を植えることで管理が楽になり、農業者の負担が減ると思うが、いかがか。

産業建設部長 議員の提案したこと、法面の整備について県と情報交換しながら検討していきたい。

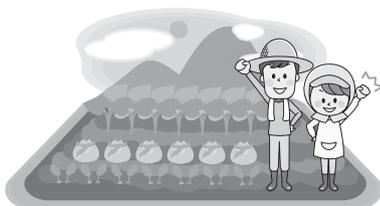
岡本議員 ほ場整備されず、農道が狭い山間地は、大型機械が使えず景観を守りながら、大変な思いで農業をしている。何か補助金があれば、農道を広くしたり、営農組織を立ち上げて共同で行つたりすることができると思うが、いかがか。

産業建設部長 大変苦労されているとお聞きする。

利用できる事業があるのか、考えていきたい。

岡本議員 私は、行政はやはりJAと協力して、地域の人たちの意見を聞きながら取り組んでもらうと嬉しい。豊前市独自のブランド化を目指して、作物を作っている地域も多くなっている。これからの1次産業は、地域の人たちが守っていかねばならないと思うし、行政と一緒に支えていただきたい。5年10年後は農業をする人が減ってくると思うが、この先、地域の農業をどう守っていくのか、お聞きしたい。

産業建設部長 大変難しい問題である。新規就農者もそんなに増えない、若者へのバトンタッチなど農家の方と連携しながら模索したい。



新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、4月13日、17日、28日、6月22日の4日間開催され、市の執行部より感染状況が報告され、豊前市独自の支援事業などを実施するよう提案し、具体案が示めされました。

《第1弾 豊前市新型コロナウイルス感染拡大防止休業等協力店舗支援金事業》

福岡県による休業要請等を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止に協力する対象施設に対し、令和2年4月23日から5月6日までの期間、全日休業(20万円)・全日時間短縮(10万円)の支援金を給付しました。

《第2弾 豊前市新型コロナウイルス感染症対策事業者応援金事業》 「頑張ろう!ぶぜん!!応援金」

新型コロナウイルスの感染拡大が地元経済に影響を及ぼすことを考慮し、市内事業者の活性化・支援を目的として再起の糧としていただく為、今後も事業を継続する意思がある事業者の方に、応援金(10万円)を給付しました。また、休業することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止に協力した事業者に、応援金の加算(5万円)を行いました。

※ただし、第1弾の支援金事業の給付を受けた事業者を除く。

《第3弾 新型コロナウイルス感染症に対する豊前市独自支援策事業》

長期化が見込まれる新型コロナウイルス感染症により、消費及び家計に与える影響を踏まえ、豊前市独自支援事業を行います。

◎豊前市生活応援事業（エール券：全市民2千円・高校生以下3千円）

◎高齢者及び妊産婦生活応援事業（タクシー券：75歳以上高齢者及び妊産婦3千円）

◎福祉施設等従事者応援事業等（エール券：福祉施設従事者3千円、福祉施設等10万円）を7月上旬から配布します。

※ただし、福祉施設等（10万円）は、第1・2弾の支援金事業の給付を受けた施設を除く。

生活支援を行うとともに、市内の店舗等の利用を促進し、今後の地域経済の維持や活性化を推進することを目的としています。



説明を受け、委員よりいろいろな意見が出されました。主なものは以下のとおりです。

- ・事業者の皆さんへの応援を、ソフト・ハード面で何か支援ができないのか。
- ・国県の補助を活用することにより市の負担を抑え、サポートしていくことが必要だと思う。
- ・郵便でエール券の配布は危険だと思う。市民の手元に届くように配布の方法をしっかりと協議してほしい。
- ・福祉施設の関係で個人の申請があるが、施設で働く人の申請はどんな形で行うのか。
- ・休業による加算（5万円）について、休業したことを何をもって証明させるのか。
- ・支援金や応援金は、収入として税の対象となるのか。

その他にも新型コロナウイルス感染症に関する意見が出されました。

- ・感染者やその家族へのサポートをお願いする。
- ・学校休業のため学力・生活面が心配だ。子供たちへのサポートが必要である。
- ・介護施設や医療関係者へのフォローが必要である。
- ・国県や民間のいろいろな支援があるので、分かりやすく市民に情報提供するように。
- ・次亜塩素酸水は豊前市で提供するところはあるのか。

議会として、議員としてみんなで一丸となって、応援できる部分があれば応援し、豊前市を元気づけたいと思います。困難な時ほど力を合わせて一つになって乗り越えることが、豊前市民のしあわせにつながりたいと思います。共に頑張りましょう。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止（公職選挙法第199条の2第1項、第2項）
豊前市議会は、初盆参り等については、法令遵守をいたします。

全国市議会議長会表彰



爪丸裕和議長
(議員20年特別表彰のあいさつ)



磯永優二議員
(議長8年特別表彰のあいさつ)

爪丸裕和議長(議員20年特別表彰)と磯永優二議員(議長8年特別表彰)が、5月27日に書面開催された第96回全国市議会議長会定期総会において、市政振興に尽くされた功績が認められ、表彰されました。

ヴービン在福岡ベトナム総領事が表敬訪問



中央左 爪丸議長・中央右 ヴービン総領事

豊前市にベトナム・ランソン省から、6月5日、新型コロナウイルス感染症対策防止用マスク2万枚が寄贈され、ヴービン在福岡ベトナム総領事が同市に来庁されました。市内の外国人技能実習生356人のうち、ベトナム人が45%(150人)と最も多く、同省から申し出がありました。ヴービン総領事は、「一日も早く終息し、新型コロナウイルスを乗り越えましょう」と激励しました。

編集後記

6月定例会では、新型コロナウイルス感染防止の為、入場は検温・マスク着用の上、執行部側は答弁にかかわる職員のみ入場とし、また議会傍聴は自粛の形で開催しました。議会でも新型コロナウイルス対策特別委員会が設置され、生活支援・事業者支援の両面で取り組んでいるところです。

不要不急の外出自粛や、飲食店等の自粛休業など、今まで当たり前と思っていた生活が一変し、当たりの有難さを痛感した日々でありました。先行きの見えない状態が続いておりますが、このような時こそ豊前市全体が同心協力の想いでこの苦難を乗り越えていきましょう。

梅丸 晃

次回の定例会は 9月です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴につきましては、当面の間、自粛いただきますようお願いいたします。本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会

検索

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：為藤直美
委員：村上勝二 郡司掛八千代
秋成英人
- 印刷 築上印刷有限会社